

整理番号		247		事務事業評価表 令和5年度実施事業		部 長	課 長	係 長	担当者
事業名		公園管理事業（再掲）				担当課		都市整備課	
基本目標		5 便利で快適に暮らせるまち				担当係		公園緑地係	
施策項目		6 公園・緑地				計画期間		令和5年度 ～ 令和7年度	
主な取組		1 公園設備の点検・更新				事業区分		一部委託	
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業			
		1	8	4	3				
目的と方針【PLAN】		緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。							
事業概要【PLAN】		公園施設の点検、修繕等により、公園を適正に維持管理します。							
対象【PLAN】		市民・公園利用者			意図【PLAN】		・利用者の利便性向上 ・安全で快適な施設の提供		
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		市民などの公園利用者が、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行うこと。							
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	8,700	0			
	その他	千円		561	561	3,361			
	一般財源	千円		25,495	22,755	17,634			
	事業費合計	千円		26,056	32,016	20,995			
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公園緑地の整備状況の満足度		%	実績値が目標値以上となること	目標値	28.8	29.0	30.0	31.0	32.0
				実績値	28.8				
				達成率	100.0%				
(2) チェック項目による評価【CHECK】									
評価視点					評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				利用者の利便性向上や、市民交流の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、必要性の高い維持管理事業である。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				地域コミュニティ形成、健康づくりの拠点として寄与するとともに、休憩所、トイレ等便益施設としての機能を果たしており、今後も一定の社会貢献度が期待される。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				除草作業や日常の簡易な点検等について、地元住民の協力を得ながら、費用を抑えて維持管理を行うことができた。				
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			日常清掃や除草作業を行うとともに、故障箇所の修繕や老朽化した遊具の撤去を行い、適正な維持管理を図ることができた。 遊具の老朽化が著しいため、明確な優先順位のもと順次撤去作業を進めていく必要がある。				

整理番号		248		部 長 課 長 係 長 担当者					
事務事業評価表 令和5年度実施事業									
事業名	都市公園管理事業			担当課	都市整備課				
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			担当係 公園緑地係				
施策項目	6	公園・緑地			計画期間 令和5年度 ～ 令和7年度				
主な取組	1	公園設備の点検・更新			事業区分 一部委託				
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	1	8	4	3	公園費				
目的と方針【PLAN】	緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。								
事業概要【PLAN】	公園施設の点検、修繕等により、都市公園を適正に維持管理します。								
対象【PLAN】	市民・公園利用者		意図【PLAN】	・利用者の利便性向上 ・安全で快適な施設の提供					
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民などの公園利用者が、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行うこと。								
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		1	1	1			
	一般財源	千円		166	470	1,340			
	事業費合計	千円		167	471	1,341			
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
公園緑地の整備状況の満足度	%	実績値が目標値以上となること	目標値	28.8	29.0	30.0	31.0	32.0	
			実績値	28.8					
			達成率	100.0%					
(2) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				利用者の利便性向上や、市民交流の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、必要性の高い維持管理事業である。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				地域コミュニティ形成、健康づくりの拠点として寄与するとともに、休憩所、トイレ等便益施設としての機能を果たしており、今後も一定の社会貢献度が期待される。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				除草作業等について、地元住民の協力を得ながら費用を抑えて維持管理を行うことができた。				
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		日常清掃や除草作業を行うとともに、故障箇所の修繕を行い、適正な維持管理を図ることができた。 遊具の老朽化が著しいため、明確な優先順位のもと順次撤去作業を進めていく必要がある。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	やながわ希望の森公園維持管理事業					担当課	梁川総合支所
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	業務防災係
施策項目	6	公園・緑地				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	公園設備の点検・更新				事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	7	1	4	やながわ希望の森公園管理費		

目的と方針 【PLAN】	緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。
-------------------------	--

事業概要 【PLAN】	公園施設の老朽化により修繕等が必要となっているため、公園利用者のニーズの変化に沿った修繕等を計画的に実施します。 また、適正な維持管理に努めます。
----------------	--

対象 【PLAN】	①市民及び利用者	意図 【PLAN】	①市民及び利用者の憩いの場として、快適に施設を利用できる状態を維持する。 ②観光施設として、市内外から多くの観光客が訪れる。
--------------	----------	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	①誘客推進のため年間を通じてのイベント開催を、地元のNPO団体に業務委託し実施する。 ②第一駐車場などのトイレ改築・舗装修繕及びオートキャンプ場・ドックランなどの施設整備を行い、利用促進を図る。
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	5,000	5,000			
	その他	千円	2,364	2,364	5,977			
	一般財源	千円	20,929	29,766	19,772			
	事業費合計	千円	23,293	37,130	30,749			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公園利用者数	人	実績値が目標値	目標値	25,000	28,000	31,000	35,000	50,000
		以上と	実績値	21,348				
		なること	達成率	85.4%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	キャンプ場や遊具・アスレチックだけでなく、ミニＳＬや野草薬草園などの特徴的な施設を有している森林公園のため、ウォーキングや愛犬の散歩など幅広い年代に利用されており、市民ニーズは高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	施設の改修・整備やトイレの洋式化などを通じて、今まで以上に快適に公園を利用できるようになるため、利用者の増加や市民満足度の向上が期待される。社会貢献度については、森林公園として癒しの効果がある。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	やながわ希望の森公園再整備に関しては、費用対効果を考慮して、実施内容を取捨選択し、費用を抑えるべく精査した。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	やながわ希望の森公園再整備により、長年の課題だった第一駐車場の補修やトイレ洋式化などの問題は改善される見込みだが、ミニＳＬ（客車・線路等を含む）や遊具・アスレチックの老朽化など、引き続き取り組むべき課題が残されている。
------------	----	-------------------------	---

整理番号		250 事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	保原総合公園維持管理事業				担当課	都市整備課				
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	公園緑地係			
施策項目	6	公園・緑地				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	2	公園・緑地の管理体制の充実				事業区分	指定管理			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	8	4	3	公園費					
目的と方針【PLAN】	緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。									
事業概要【PLAN】	保原総合公園の公園施設（園路広場、修景施設等）及び有料公園施設（球場、テニスコート、パークゴルフ場、フットボール場等）を適性に維持管理します。									
対象【PLAN】	市民・公園利用者				意図【PLAN】	・スポーツ環境の提供 ・広域的利用による交流人口の拡大 ・健康増進への寄与（健幸都市のさらなる推進）				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民などの公園利用者が、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行うこと。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	3,800				
	一般財源	千円		58,178	48,620	48,271				
	事業費合計	千円		58,178	48,620	52,071				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
保原総合公園利用者数（有料施設及び公園利用申請による利用者数）	人	実績値が目標値以上となること	目標値	64,000	66,000	68,000	70,000	72,000		
			実績値	80,742						
			達成率	100.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				保原総合公園の広域的な利用と市民のさらなる健康増進、青少年の健全育成や福祉の向上に資するため、優先度の高い事務事業である。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				総合公園として、野球場、フットボール場、パークゴルフ場等、その他スポーツ施設を整備していることから、練習や大会等で幅広く利用され、高い市民満足度、社会貢献度を満たしている。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				指定管理者が維持管理を行うことにより、各施設にきめ細かな管理が行き届き、効果的・効率的な事業を推進できた。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	管理運営を民間事業者に委ねることにより、民間の有するノウハウや経営資源を活用し、住民サービスの向上や経費削減を図ることで、効果的・効率的な管理ができています。							

整理番号					部 長				課 長				係 長				担当者								
251					事務事業評価表 令和５年度実施事業																				
事業名		公園管理事業（再掲）								担当課				都市整備課											
基本目標		5		便利で快適に暮らせるまち								担当係				公園緑地係									
施策項目		6		公園・緑地								計画期間				令和５年度 ～ 令和７年度									
主な取組		2		公園・緑地の管理体制の充実								事業区分				一部委託									
予算科目		会計		款		項		目		大事業															
		1		8		4		3		公園費															
目的と方針【PLAN】		緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。																							
事業概要【PLAN】		町内会等の団体に公園維持管理用の資材等を提供し、地域住民による身近な公園の清掃や維持管理等を支援します。																							
対象【PLAN】		市民・公園利用者								意図【PLAN】				・ 利用者の利便性向上 ・ 安全で快適な施設の提供											
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		市民などの公園利用者が、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行うこと。																							
事業費【D0】				年度単位		04年度（実績）		05年度（実績）		06年度（予算）		07年度（予算）		08年度（予算）		09年度（予算）									
財源内訳	国庫支出金			千円		0		0		0															
	都道府県支出金			千円		0		0		0															
	地方債			千円		0		8,700		0															
	その他			千円		561		561		3,361															
	一般財源			千円		25,495		22,755		17,634															
	事業費合計			千円		26,056		32,016		20,995															
(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】																									
指標名				単位		達成条件		区分		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度							
ボランティアや地域活動としての公園緑地の美化清掃活動等をしている団体数				団体		実績値が目標値以上となること		目標値		11		13		15		17		18							
								実績値		15															
								達成率		100.0%															
(２)チェック項目による評価【CHECK】																									
		評価視点								評価の結果															
必要性		・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか								利用者の利便性向上や、市民交流の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、必要性の高い維持管理事業である。															
有効性		・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか								地域コミュニティ形成、健康づくりの拠点として寄与するとともに、休憩所、トイレ等便益施設としての機能を果たしており、今後も一定の社会貢献度が期待される。															
効率性		・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか								除草作業や日常の簡易な点検等について、地元住民の協力を得ながら、費用を抑えて維持管理を行うことができた。															
(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】																									
今後の方向性		維持		事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など				日常清掃や除草作業を行うとともに、故障箇所の修繕や老朽化した遊具の撤去を行い、適正な維持管理を図ることができた。 遊具の老朽化が著しいため、明確な優先順位のもと順次撤去作業を進めていく必要がある。																	

整理番号
252

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	保原総合公園施設充実化事業					担当課	都市整備課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	公園緑地係
施策項目	6	公園・緑地				計画期間	令和5年度　～　令和6年度
主な取組	3	公園・緑地の有効利用				事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	8	4	3	公園費		

目的と方針【PLAN】	緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。		
事業概要【PLAN】	保原総合公園の利用促進を図るため、既存施設の充実化事業として、フットボール場及びテニスコートへの夜間照明設置等を行います。		
対象【PLAN】	市民・公園利用者	意図【PLAN】	・スポーツ環境の向上 ・広域的利用による交流人口の拡大 ・健康増進への寄与（健幸都市のさらなる推進）
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民などの公園利用者が、整備を計画している施設を利用できるよう施設充実化事業を推進すること。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円			0	0			
	都道府県支出金	千円			0	0			
	地方債	千円			2,100	107,900			
	その他	千円			0	5,679			
	一般財源	千円			169	0			
	事業費合計	千円			2,269	113,579			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
フットボール場、テニスコートの夜間利用者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	－	－	500	800	1,100
			実績値	－				
			達成率	－				

（２）チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	保原総合公園の広域的な利用と市民のさらなる健康増進、青少年の健全育成や福祉の向上に資するよう、夜間利用の促進が課題であり、優先的に整備を図る必要がある。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市民のレクリエーションや健康づくりの拠点として、運動施設等の各種機能を拡充するとともに、大会等におけるさらなる利用促進が図られ、市民満足度や社会貢献度の向上が期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	工事内容及び工事量についての検討と、適正な事業規模を見極めた設計を行った。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	適切な事業規模の見極めを行った上で、設計業務を完了することができた。次年度は、利用者への支障が極力発生しない工夫を行いながら、早期完成に向けた工事を実施していく。

整理番号						部 長	課 長	係 長	担当者
253		事務事業評価表 令和５年度実施事業							

事業名	公園管理事業（再掲）				担当課	都市整備課				
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	公園緑地係			
施策項目	6	公園・緑地				計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度			
主な取組	3	公園・緑地の有効利用				事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	8	4	3	公園費					
目的と方針【PLAN】	緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。									
事業概要【PLAN】	利用頻度が少なく安全性が担保できない遊具等の撤去工事を行います。									
対象【PLAN】	市民・公園利用者				意図【PLAN】	・利用者の利便性向上 ・安全で快適な施設の提供				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民などの公園利用者が、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行うこと。									

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	8,700	0			
	その他	千円		561	561	3,361			
	一般財源	千円		25,495	22,755	17,634			
	事業費合計	千円		26,056	32,016	20,995			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公園緑地の整備状況の満足度	%	実績値が目標値以上となること	目標値	28.8	29.0	30.0	31.0	32.0
			実績値	28.8				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	利用者の利便性向上や、市民交流の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、必要性の高い維持管理事業である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	地域コミュニティ形成、健康づくりの拠点として寄与するとともに、休憩所、トイレ等便益施設としての機能を果たしており、今後も一定の社会貢献度が期待される。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	除草作業や日常の簡易な点検等について、地元住民の協力を得ながら、費用を抑えて維持管理を行うことができた。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	日常清掃や除草作業を行うとともに、故障箇所の修繕や老朽化した遊具の撤去を行い、適正な維持管理を図ることができた。 遊具の老朽化が著しいため、明確な優先順位のもと順次撤去作業を進めていく必要がある。

整理番号 254				事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者
事業名		緑化推進事業						担当課		農林整備課	
基本目標		5 便利で快適に暮らせるまち						担当係		林業振興係	
施策項目		6 公園・緑地						計画期間		令和5年度 ～ 令和7年度	
主な取組		4 緑化活動の支援						事業区分		直営	
予算科目		会計	款	項	目	大事業					
						予算計上なし					
目的と方針【PLAN】		緑豊かな住環境の形成やスポーツ・レクリエーション・いこいの場の確保、観光機能の強化に向け、公園・緑地の適正管理や有効利用を図るとともに、市民と協働し、緑化を進めます。									
事業概要【PLAN】		伊達市緑化推進委員会による緑化推進運動の一環として各公共施設及び企業等へ花苗の配布を実施し、緑化活動の推進を図ります。									
対象【PLAN】		伊達市民、学校、企業等				意図【PLAN】		伊達市内における緑化推進を図る。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		緑化募金の協力、緑化活動の依頼について広報等を実施する。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度		
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0					
	都道府県支出金	千円		0	0	0					
	地方債	千円		0	0	0					
	その他	千円		1,032	1,031	1,012					
	一般財源	千円		0	0	0					
事業費合計		千円		1,032	1,031	1,012					
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】											
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
緑化推進活動団体数		団体	目標値が実績値以上となること	目標値	32	32	32	32	33		
				実績値	32						
				達成率	100.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】											
		評価視点				評価の結果					
必要性		・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				市民協働による公共施設等の緑化に要望があり、活動の推進のため必要性がある。					
有効性		・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				市民協働で各地区、公園、公共施設等における緑地、花壇等の適正管理、有効利用を図り、環境整備ができ市民の満足度が向上した。					
効率性		・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				予算計上なし。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】											
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など				今後も市民協働による緑化活動を維持し各地域の緑地の管理、有効利用に勤めていく。					